

月報 2024 年 8 月 31 日 No.403

石城山岳会

8月号

四方通信



石城山岳会事務局編集

個人山行「燕岳～大天井岳～常念岳～蝶ヶ岳縦走」

2024 年第五回登山教室「一切経山」

個人山行「燕岳～大天井岳～常念岳～蝶ヶ岳縦走」

2024 年 8 月 16 日(火)～18 日(木)

高倉、種市、西田

太平洋側は台風の予報だった週末に北アルプスへ出掛けた。初日、安曇野は曇り。台風の影響か湿気がすごい。今回は『パノラマ銀座』として紹介される縦走コースを堪能してきた。

【day1】

北アルプス三大急登の一つ、合戦尾根を登る。とはいえ、整備されて歩きやすく、所々にベンチもあるので良心的な急登だった。たくさんの登山者と行き交いながら樹林帯をひたすら登り、3 時間ちょっとで合戦小屋。名物のスイカと、昼食にうどんをいただく。さらに 1 時間で泊地の燕山荘へ到着。

テントを張り終え、ガスが晴れそうなタイミングで山頂へ。もろもろした風化花崗岩、足元のコマクサ、写真でよく見るイルカを楽しんでいるうちに、山頂は真っ白になってしまった。

景色は 2 日目以降に期待して、テン場に戻り夕食、宴会を済ませて早めの就寝。

【day2】

雲海、ご来光、富士山、皆あちこちで撮影会。我々は 6 時行動再開。表銀座縦走コースで会う登山者の中には槍ヶ岳を目指す人もいた。

喜作新道を開通させた小林喜作のレリーフを過ぎるとまもなく大天荘。ここまで西田のペースがなかなか上がらず 9 時過ぎの到着。山頂往復を含め、たっぷり 1 時間半休憩時間をとってもらった。山頂では槍穂高方面の雲が晴れないか睨めっこ。なかなか穂先は顔を出してくれず焦った。

休憩が効いたのかここからはペースアップ。いずれも標高ベスト 100 に入る東天井岳、横通岳も漏れなく山頂を踏んだ。横通岳を過ぎたら一度ぐっと降り常念乗越に出る。13 時 20 分、常念小屋に到着。まもなくして雨が降り出し、落ち着くのを待ってから男性陣はテント設営。

小屋の売店、食堂を利用させてもらい生ビールとつまみで乾杯した。16 時にはテン場へ戻り、本を読んだり、寝転んだり、雲の動きと睨めっこしたりとそれぞれの時間を過ごした。日没後就寝。

【day3】

3 時半、満点の星空。ぼちぼち起き始める。朝食を済ませてテントを出ると目に飛び込む迫力の雲海、常念岳、そして槍・穂高連峰。素晴らしい 1 日の始まりだ。

5 時行動再開。寝起きの体には痺れる常念岳までの登りも、この景色の中なら最高の時間だった。6 時 15 分常念岳山頂。昨年歩いた奥穂から北穂、休憩した北穂高小屋とその後の大キレット、南岳、中岳、大喰岳、槍ヶ岳、憧れの北鎌尾根まで、本当によく見えて感動した。しばらくは絶景を眺めながら降るが、その後樹林帯に入り蝶槍までは蒸し暑さとの戦い。

9 時 10 分蝶槍、その先の三角点を確認し、10 時前に蝶ヶ岳ヒュッテへ着いた。ビールやコーヒーで一息入れて、三股登山口まで一気に降る。これまた非常に整備された登山道で、この日もたくさんの登山客が登ってきていた。

13 時下山。ほりで一ゆ四季の郷で入浴、そば処上條にて遅めの昼食をとり帰路についた。

今回、夏休み期間ということもあってか、たくさん子どもたちとすれ違った。燕山荘のイベントに参加した小学生の団体、家族連れなど、未就学児～中高校生くらいまでたくさん子どもたちが元気いっぱい登っていた。いわき子どもたちは正直、登山と無縁の子（家庭）が多いような気がする。北アルプスのような華々しい山でなくても、身近な山に親しむ機会が平等にあったら良いのにと、教員の端くれとして思うのであった。

（文責：西田）

（コースタイム）

【day1】

10：00 中房温泉登山口→13：15 合戦小屋（～13：50 休憩）→14：50 燕山荘

【day2】

6：00 燕山荘→9：05 大天荘（大天井岳山頂まで10分、～10：30 休憩）

→11：20 東天井岳→12：40 横通岳→13：20 常念小屋

【day3】

5：00 常念小屋→6：15 常念岳→9：10 蝶ヶ岳→9：55 蝶ヶ岳ヒュッテ（～10：25 休憩）

→13：10 三股登山口下山



（常念岳山頂より）



2024 年第五回登山教室「一切経山」

2024 年8月 18 日(日)

○参加者

- ・教室 (8名): 吉田(揚)、長谷川(公)、久保田、竹本、佐藤(敦)、鈴木(勤)、矢内、志賀(幸)
- ・会員 (13名): 福島、松崎、岩崎、山中、山縣、芳賀、佐々木、赤塚(将)、根本、柏村、秋葉、栗崎、下山田、蛭田(一)

台風7号の接近で山行自体が危ぶまれたが予想進路より遥か東を進んでくれたこともあり予定通り実施することが出来た。

5:00 に水石トンネルを出発して不動沢橋登山口には予定より約 40 分早く到着した。不動沢橋登山口～賽河原分岐～中天狗まではほぼ樹林帯で蒸し暑かった。白とんがり～駱駝山のあたりはガスであり景色は望めず、駱駝山で昼食を予定していたが、予定より早かったこともあり一切経山の頂上を目指すこととなった。頂上に着くとガスも晴れ、見事な魔女の瞳に会う事ができた。下山は家形山分岐～賽河原分岐と周回コースで不動沢橋登山口に戻った。負傷者が発生したが山縣さんのサポートとエスケープ対応の下山田さん、蛭田(一)さんの協力で計画通り山行を終了することができた。



【コースタイム】

- 7:05 不動沢橋登山口 (出発)
- 7:45 賽河原分岐
- 9:30 中天狗
- 9:45 白とんがり
- 10:30 駱駝山
- 12:15 一切経山 (昼食)
- 13:45 家形山分岐
- 15:15 賽河原分岐
- 15:55 不動沢橋登山口

(文責: 福島)